



高知県

第51号 2008年3月

農業技術センターニュース

目次	
 紫色の果色をもつシシトウの育成	… 1
 点滴チューブを利用したニラの合理的なかん水施肥技術	… 2
 '南国そだち' を7月下旬に収穫するための移植時期	… 3
 8tどりを目指した高糖度トマトの根域制限栽培	… 4
 産学官連携研究による「碁石茶」の機能性と茶葉の栽培および製造方法	… 5
 養液栽培ナスにおけるチビクロバナキノコバエ防除薬剤の作物残留試験	… 6

紫色の果色をもつシシトウの育成



写真1 紫色シシトウ



写真2 植物体

表 紫色シシトウのビタミンC含量

品種	還元型ビタミンC含量 (mg/100gFW)
紫色シシトウ	73.3 a
土佐じしビューティー(対照)	57.6 b
葵ししとう(対照)	50.1 b

注) 分析日: 2007年2月16日。HPLCにより測定しアスコルビン酸相当量で表示した。Steel-dwass検定により異なる7%7% 外間5%水準で有意差あり(品質管理担当による)。

紫色の果色をもつシシトウを育成しています(写真1~2)。このシシトウの紫色の固定には、紫色ピーマンにシシトウを何度も交配する「戻し交配育種法」と自殖を繰り返す「系統育種法」を使いました。現在はF₁交配親の最終選抜を行っています。

紫色シシトウの色素は、アントシアニンの一成分のナスニンであり、抗酸化活性などの機能性があることが知られています。ま

た、還元型ビタミンC含量が、シシトウに比べ多いことが明らかとなりました(表)。さらに、トバモウウイルスに対してシシトウの中では最も強い抵抗性をもっています。

紫色シシトウは、栄養価が高く、果皮が柔らかく食味も良いことから新規の食材として市場から注目されています。

(園芸作物担当 澤田博正 088-863-4916)